

2005年8月3日
住友化学株式会社

第1回 ものづくり日本大賞

住友化学の「硫安フリーのカプロラクタムプロセスの開発とその工業化」
が経済産業大臣表彰「ものづくり日本大賞」を受賞

住友化学は8月3日、経済産業省から第1回 経済産業大臣表彰「ものづくり日本大賞」を受賞しました。

このたび、政府は我が国の産業・文化の発展を支え、豊かな国民生活の形成に大きく貢献してきた「ものづくり」を着実に継承し、さらに発展させていくため、新たな表彰制度として「ものづくり日本大賞」を創設いたしました。そのうち、「産業・社会を支えるものづくり－製造・生産プロセス」分野では、生産技術の抜本的効率化など、製造・生産工程において画期的なシステムや手法の開発・導入による生産革命を実現したという貢献を表彰するものです。

今回、住友化学で受賞対象となったのは、「硫安フリーのカプロラクタムプロセスの開発とその工業化」です。これは、ナイロン6の原料であるカプロラクタムの製造に関して、画期的な新プロセスを確立し、その商業プラントの運転を開始したものです。

従来のプロセスでは、硫酸やアンモニアが副原料として使用されるため多量の硫酸アンモニウム（硫安）が副生するだけでなく、副原料製造・硫安回収のための多大な設備が必要で、設備投資額は非常に大きいものでした。さらに、多くの長い製造工程であるため、多くの運転人員も必要でした。

新しいプロセスは、従来のプロセスでは避けられなかった硫安が全く副生しないものであり、世界で初めて工業化された技術です。このため、環境にやさしいだけでなく、設備投資額や運転人員も少なくてすみます。

このように、ラクタム製造における長年の課題であった硫安の副生を解決し、必要なものだけを製造する点で従来のプロセスより格段の優位性があります。このプロセスの開発と工業化が、抜本的効率化による生産革命の実現に資するとして高く評価されたものです。

住友化学は今後とも、幅広い技術力を生かし、日本の産業の発展を支える新技術・新製品の開発を推進することにより、豊かな国民生活の形成の実現に積極的に貢献してまいります。

以上